

各区PTA連絡会研修会開かれる

西区

日時：平成28年10月15日(土)
場所：熊本市西部公民館

「ソーシャルメディア時代における大人の役割」
～スマホ・SNS社会の中で育つ子どもたちを通じて～
講師：田中慎一朗氏(三和中学校教諭)



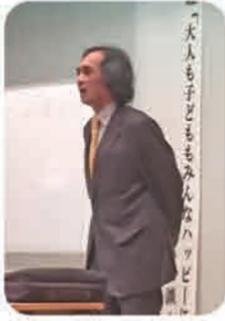
講師：田中 慎一朗氏

今年の西区PTA連絡会研修会では、三和中学校の田中慎一朗先生に講演をしていただき、原稿を依頼し書いていただきました。
本年度西区PTAの研修会で、情報モラルについて話をさせていただきました。

東区

「東区PTA研修会」

日時：平成29年1月21日(土)
場所：熊本市図書館ホール



講師：岡田 行雄氏

平成29年1月21日(土)に熊本市立図書館ホールにて、東区PTA連絡会研修会として、午前スキルアップ研修(会長・市P担当対象)及び午後東区PTA研修会(単P会員対象)を実施しました。

午前のスキルアップ研修は「PTAにおける危機管理」と題し熊本大学法学部の岡田行雄教授を講師として招きました。
ご自身もPTA会長の経験をされた中での体験と、その中の危機管理及びノウハウ等をアドバイスされました。またPTA活動の在り方を考えるとして、PTAの教育を支える公共性と、保護者のレベルアップ(親同士のコミュニケーション)等についても語って頂きました。出席者が各



講師：DJ 山本シュウ氏

「自身も長屋育ちであるため、「We are シンセキ」とお節介なキーワードをメインに、子どもとのコミュニケーションのとり方を語って頂きました。

学校の現PTA実務者ということもあり、参加者全員が真剣(恐らく我が身に置き換えて)に聞き入っていました。
午後は「大人も子どももみんなハッピーに!!」と題し、講師としてDJ山本シュウさん(別名・レモンさん人気ラジオDJ)を迎え研修会を開催しました。
レモンさんもPTA会長を5年間経験され、親として、子どもへの向き合い方を中心に笑いを交え語って頂きました。

た。例えば、お父さんお母さん世代は昭和の愛しい(IC)チップしか入っていない。直ぐに感情的になるチップ、人の話を聞けないチップ、絶対自分が正しいチップ、すぐダメだするチップ、上から目線チップ等々、親世代の考え方の古さを指摘されました。なお、その答えの一つとして子どもとの会話(特に思春期を持つ親御さん)に対し「アンガーマネジメント」(否定的な「いい」ではなく「聞く耳を持つ」good)等の考えを持つよう、多数のヒントを頂きました。
最後にPTAの心得として、情報、会話、友人、感動、愛の5つが必要であることを前提に、PTAは親塾(子育ては親育て)であることを提示されました。
ここには書ききれない時間を越える熱い語り口で、参加者には最後まで、濃密な時間であったと思います。
スキルアップ研修、研修会何れも、ご自身の経験を踏まえたPTA先輩として、親として、いくつもヒントを頂く、貴重でとても面白い研修会となりました。
(泉ヶ丘小学校本田裕盛)

北区

日時：平成29年1月21日(土)
場所：フードパル熊本/熊本市食品交流会館

「心の中の引き出しーラクガキノススメ」
講師：桜田幸子氏



講師：桜田 幸子氏

熊本市北区PTA連絡会研修会が、平成29年1月21日(土)の午前10時～11時30分、フードパル熊本内の熊本市食品交流会館にて開催されました。会場が溢れんばかりの大勢の方にご参加を頂き、終始和やかな楽しい雰囲気では進行いたしました。
講師は、漫画「おっぱいの達人」の作者で熊日すばいす\*さん、熊日釣

中央区

「強くしなやかな心を育てるほめ言葉の力」
講師：湯澤一成氏(熊本e企画社代表)



講師：湯澤 一成氏

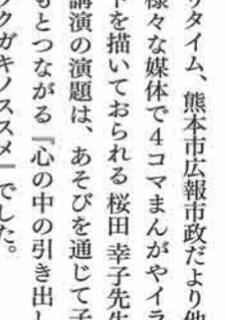
中央区では、毎年、全体会と3つの分科会からなる研究大会を行ってまいりましたが、今年は、震災のため見送ってまいりました。一方、区の活動も平常時に戻り、会員の研修受講意欲も高まったこと等により、本講演会の開催となりました。
講師に、熊本e企画社代表の湯澤一成氏をお招きし、「強くしなやかな心を育てるほめ言葉の力」というテーマでご講演いただきました。
講演では、まず、講演を聞く姿勢(全力で拍手をすること、全力でうなずくこと等)により、成果が何倍も高まることを教わりました。

次に、集中力テストでは、一つのことにとらわれると、その他の貴重な情報をキャッチすることが難しくなることに気づかされました。
本題のほめることについては、ネガティブな要素も見方を変えれば、ポジティブに捉えられ、そこを大いに評価して伝えることにより、普段できていない価値が創造できていくことなどについて学びました。
また、講演会に関するアンケート結果は、大変良い45、良い12、他0と大変好評で、「子育てにおいて気づかされるのがたくさんあった」、「ポジティブな言葉を家庭ですぐに使いたい」、「ほめ脳になって、脳の活性化をしながら楽しく生きていきたい」、「すぐに怒らず、6秒待つて対処したい」など、多くの気づきが寄せられました。
今後、ほめ上手な中央区の会員が増殖していきそうです。
(藤園中学校楠本誠二)

南区

日時：平成29年2月5日(日)
場所：ANAクラウンプラザ熊本ニュースカイ

「いのちと夢のコンサート」
講師：弓削田健介氏



講師：弓削田 健介氏

佐賀県出身で、歌を作りながら旅を続けている放浪の合唱家、弓削田健介先生。呼ばれたらどこにでも行きますという事です。
トヨタから取材を受けた際に出された宿題が、日本を元気にできる歌を作るということでした。そこで、先生は富士山の力を借りて何かできないかなーと思ひ、旅先で皆さんに声をかけ、8月24日に富士山に集合し火口の周りでハンカチに夢や被災者の思いを書いてそれを繋げて歌を歌われました。
「憧れの人の言葉は心の中にすんなり入ってくる。是非皆さんも憧れの

人が作って下さい」と先生は放浪の画家山下清さんが憧れという。はだかの大将と呼ばれる由来を、山下さんと師匠とのエピソードを交えながら語られていました。
♪野に咲くはな
♪美容室の歌
先生はホスピスへも講演に行かれるという。そこで90代の方から、一番後悔していることはもっと冒険しておけばよかったという話を聞きます。その後先生はローマ、アムステルダム、チューリッヒなど多数の日本人学校に出かけるようになったという。
♪しあわせになれ
ホスピスでたくさんの方の元気をもらい、たくさんの方の思いを作られたそうです。映像を交え昭和の歌もたくさん歌われていました。
♪アンパンマンのマーチ
♪つばさを下さい
「最後に、つながることを大切にしてください」との言葉で締めくくられました。
(託麻中学校崎代智昭)

がちですが、可能な限り何でも経験させることで多くの「心の中の引き出し」を醸成する。特に、ラクガキ(絵を描くこと)は、自己表現する力を養う絶好の体験となるオススメの方法、という教えでした。
捨てる物は、ラクガキに最適なキャンパス。子どもが思うままにラクガキができる環境は日常にある。ラクガキを通じて子どもの感性を大切に育んでいくことのススメでした。
ラクガキというあそびを通じて子どもとつながることで、「心の中の引き出し」が増えていくという、子育てにたいへん参考になる学びの場となりました。
桜田幸子先生、貴重な講演を誠にありがとうございました。
(高平台小学校甲斐文祥)